

## **株式会社 INPEX 第3回無担保社債 (第1回 INPEX グリーンボンド) の引受けについて**

今般、みずほ証券株式会社(取締役社長: 浜本 吉郎)は、株式会社 INPEX が発行するグリーンボンド(以下「本グリーンボンド」といいます。)の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本グリーンボンドで調達された資金は、その全額を、風力・地熱の再生可能エネルギーの開発、建設、運営、改修に対する新規投資およびリファイナンスに充当する予定です。

株式会社 INPEX は、グリーンボンド発行のために「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2021」<sup>\*1</sup>「グリーンボンドガイドライン 2020 年版」<sup>\*2</sup>および「気候ボンド基準 3.0 (Climate Bonds Standard Version 3.0)」<sup>\*3</sup>に即したグリーンボンドフレームワークを策定し、その適格性について第三者評価機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社ならびに株式会社格付投資情報センターから検証もしくは評価を受けています。また、株式会社格付投資情報センターから「R&I グリーンボンドアセスメント」<sup>\*4</sup>において最上位評価である「GA1」を取得していることに加え、CBI (Climate Bonds Initiative<sup>\*5</sup>)からの認証も取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場における SDGs 債の専門的な情報収集・お客様の SDGs 債ストラクチャリングを支援するため、2017 年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019 年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際 NGO である Climate Bonds Initiative<sup>\*5</sup> とパートナー契約を締結しています。その後 2021 年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はグリーンボンド等の引受けなど、さまざまなお客様の SDGs 債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客様の社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客様のさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客様の金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs 債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最高のサービスを提供してまいります。

- ※1 「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2021」とは、国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会（Green Bond Principles Executive Committee）により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドラインです。
- ※2 「グリーンボンドガイドライン 2020 年版」とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が 2017 年 3 月に策定・公表し、2020 年 3 月に改訂したガイドラインです。
- ※3 英国の国際 NGO である Climate Bonds Initiative（CBI）が、当該債券について、パリ協定における 2℃目標と一致していることを、厳格な科学的基準に基づいて保証する基準です。
- ※4 「R&I グリーンボンドアセスメント」とは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度を、グリーンボンド原則に掲げられた項目を含む評価基準に従って 5 段階の符号で評価し、債券の償還までモニタリングを行うものです。
- ※5 「ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100 兆円の債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。